



誘客活動を続ける
パノラマスキー場



遠藤正紘 議員

公費投入に対する町民の反応は
理解いただいたものと承知

質問 町政懇談会において、パノラマスキー場への公費投入に対する町民の反応は。

答弁 大部分の方にご理解いただいたものと承知をしています。公費投入について厳しい

意見もありました。現場では最盛期のときまでとはいかないまでも、それに近い来場者があることが願いであり、その為に首都圏などで誘客活動に努めています。また現場には、「心のこもったおもてなし」をするように指図をしています。

公費投入の賛否に対する住民投票は考えていません。どんな方法でも借金を返済しないで済む方法がないからです。住民の皆さんには、再建への知恵を貸していただきたいと思えます。

今後も売上を伸ばす努力を進めていきます。

その他質問事項
・町行政について
・土地開発公社への債務保証の現況と今後の対策は



小池久長 議員

自治体内に分権導入の考えは
住民の声を反映したルールづくりが必要

質問 自立を決めた町として、少ない予算で住民が、より充実した行政サービスを受けるために、自治体内を複数に分け、一定範囲内で自己決定できるような政策の考えは。

答弁 住民自治組織による自治の運営は一つの方法でもありません。財政危機、少子高齢化、自立等の課題があるなかで、有効な考え方の一つであると考えています。

今後は、地域課題等を住民が参加しながら、実情に合った独自の制度等提案できるルールづくりが必要であると考えています。

質問 町の基幹産業である農業後継者への支援、荒廃地の活用状況は。
答弁 農業後継者への支援については出来るだけの支援を進めたいと考えていますが、具体的な内容については、共に検討をしてみたいと考えています。

農業後継者への支援は
できるだけの支援を

荒廃農地の現状については、農業委員会で調査しその意向を踏まえて進めています。農業の重要性は十分認識していますので、これからも重視をしていく考えです。